



題字…今山政三郎氏

発行所
新潟県小学校長会広報部
新潟市中央区幸西3-3-1
じょいあす新潟会館2階
TEL 025-290-2231
FAX 025-245-6060
E-mail: nkskgo@niigata-inet.or.jp
印刷所 株式会社 文久堂



互助の精神を行動で示す

新潟県小学校長会 会長

近藤 朗

四月十四日の前震、十六日の本震と続き、今なお余震が絶えない熊本地震。東日本大震災の傷が未だ癒えない中、自然は容赦なく我々に試練を与えました。亡くなられた方をお悼みし、被災された方々に対し心からお見舞い申し上げます。

我々新潟県小学校長会は、度重なる自然災害から何を学び、どのように行動すればよいのでしょうか。私は三つのことを考えます。

一つは、日本人としての互助の精神の涵養です。

新潟の地も度重なる災害に見舞われ、その度に多くの方々からの温かい支援をいただきました。人の心の温かさにごれほど救われたことでしょう。地震大国日本に生きる者として、互助の精神を我々のみならず子どもたちにも養っていかねばなりません。

二つは、互助の精神を具体化する教

育の推進です。

昨年度実施した重点事項達成に関するアンケート調査から、地域と連携した防災教育の実施状況に課題が見いだされました。子どもたちには、災害に備える、協働して対応する、災害にあった人々を支えることの大切さの理解を促し、具体的に行動する力を身に付けさせなければなりません。

三つは、災害に対応できる組織・体制の整備です。

予期できない災害に対して、学校を預かる、子どもたちの命を預かる立場にある校長が、適切な判断を下し、迷わず行動できるよう、校長会として備えておかねばなりません。

平成二十八年度、我々はこれらのこととしっかりと取り組み、信頼を勝ち得る校長会の基盤を整えたいと考えます。

第七十六回県小代議員会 柏崎・刈羽大会

○平成二十八年五月十一日(水)
○柏崎市文化会館 アルフォーレ

海と山に恵まれた自然、伝統芸能「綾子舞」などの歴史・文化、ものづくりやエネルギー産業、二つの大学の設置等の特性を生かしてまちづくりを行っている柏崎・刈羽の地で、第七十六回新潟県小学校長会代議員会を開催した。会場は、震災からの復興の象徴、柏崎市文化会館アルフォーレである。

一 開会式

新潟県教育委員会教育長池田幸博様をはじめ十四名の来賓、県内二十一郡小学校長会を代表する百四十三名の代議員、八十名のオブザーバー、本部役員等総勢約二百七十名の参加で開会式が行われた。

開会にあたり、近藤朗会長は「一人一人の校長が確固たる経営理念と高い使命感をもち、校長としてのリーダーシップを発揮し、地域や学校の実態に即して明確な方針と具体的な方策を提示し、家庭、地域の人々とともに創意と活力にあふれた学校づくりに努めることが肝要である。」と力強く挨拶をした。

来賓祝辞では、新潟県教育委員会教育長池田幸博様が「女性活躍推進法や障害者差別解消法の成立を受けての

取組、改正地方公務員法を受けての人事評価制度の変更点と教員評価への理解と取組」という主要施策三点について話され、さらに次の五点の教育課題について説明された。

○学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進

○いじめ防止対策の推進

○郷土愛を軸としたキャリア教育の推進

○定数改善の動向と加配教員の配置
○教職員の綱紀の保持及び服務規律の確保

次に、新潟市教育委員会教育長前田秀子様が「新潟市では学・社・民の融合による教育を推進し、地域と教育現場との連携を一層進めている。また、次年度からの県から市への包括的権限委譲を踏まえて、目指す教育の実現に向けて特色ある学校づくりの取組を推進していく。」と述べられた。

さらに、地元を代表して柏崎市長会田洋様が「柏崎には江戸時代後期に三余堂という私塾を開設した藍沢南条先生という方がおられる。当市では江戸時代から連綿と続く主体的・能動的に学ぶ教育の流れを受け継ぎ、新たに教

育大綱を策定し、ふるさと柏崎に誇りと愛着をもち、夢と希望に向かってたくましく生き抜く子どもを育てる施策を推進している。」と述べられた。

開会式の最後に、今年度校長に採用された柏崎市立二田小学校の稲葉浩一校長に会章が授与され、力強い決意表明があった。

二 全体会

議長団として柏崎市立枇杷島小学校の池田和弘校長と刈羽村立刈羽小学校の赤澤厚史校長を選出し議事に入り、各号議案が提案通り承認された。

平成二十八年度の役員には、会長に新潟市立新潟小学校の近藤朗校長、副会長に上越市立東本町小学校の磯貝芳彦校長、魚沼市立堀之内小学校の柳恒雄校長、理事十四名、監査三名が選出された。

退任

役員の前代表として、荒木正副会長から長から「昨年度の関連プロ新大会を新潟市校長会の中

心にしてすべての会員の力を結集して成功に導けたことが一番心に残っている。当会がますます発展することを祈念している。」と挨拶があった。

新役員を代表して、近藤会長から「役員一同、新潟県・新潟市の子どもたち・保護者・地域のために小学校教育が充実するよう、本会の役割を果たしていきたい。」と挨拶があり、同時に幹事等の委嘱がなされた。

平成二十八年度活動方針・事業計画案では、近藤会長から「新しい社会の訪れを予見し、何を学ぶか、どのように学ぶか、何ができるようになるかを踏まえ、何事にも主体的に、そして多様性を尊重し、コミュニケーション能力をもった子どもたちを育成する校長会としての取組を進めること。十月に開催される日本教育会新潟大会への会員の参加及び協力体制をつくること。政令指定都市新潟市への権限委譲を受け、県と市の協議状況を把握し、校長会として対応していくこと。」の三点について方向性が示された。

三 閉会式

開催地を代表して、柏崎市・刈羽郡小学校長会の中嶋賢一会長が開催に関わる支援へのお礼を述べた。また、次期開催地を代表して、新発田市・北蒲原郡小学校長会の坂井智副会長が開催に向けた決意を述べ、最後に、磯貝芳彦副会長の閉会宣言で第七十六回県小学校長会代議員会の全体会を閉じた。



第76回 新潟県小学校長会代議員会 柏崎・刈羽大会



制度部

〈提案要旨〉

一 活動の重点

「各市町村における教育関連予算等の拡充」と「特別支援教育の充実」を引き続き当面する課題として取り上げ、各郡市小学校長会や関係機関等の協力を得ながら組織的な調査研究を行い、各学校や各郡市小学校長会の課題解決の参考となる資料を提供することにより、学校経営や各郡市小学校長会の運営に寄与する。

二 活動の概要

(一) 調査研究内容

- 1 市町村による教育関連予算等に関する調査研究
- 2 特別支援教育の充実に関する調査研究

(二) 調査研究活動

- 1 県内小学校及び各市町村教育委員会を調査対象とし、各学校や郡市校長会の課題解決の参考となる内容に焦点を当てて調査研究活動を行う。
- 2 調査研究活動報告書の作成、並びに郡市校長会が予算要望等を行う上で参考となる資料編の作成に重点を置いて活動を推進する。

- 3 第一・第二調査研究委員会を設置して両委員会が連携して活動するとともに、郡市制度部の組織を生かした活動を推進する。

三 調査研究内容の分担

- (一) 第一調査研究委員会「市町村での教育関連予算等に関する調査研究」

- 1 市町村予算による人的支援の具体的な状況及び満足度に関する調査

- 2 各校における人的配置の現状を補う対応に関する調査

- (二) 第二調査研究委員会「特別支援教育の充実に関する調査研究」

- 1 特別支援学級に在籍する児童の実態と指導・支援体制に関する調査
- 2 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を要する児童数

- 3 各校における合理的配慮の現状に関する調査(二十八年度新規)
- 4 幼稚園・保育園等及び市町村関係機関との連携に関する調査

四 郡市制度部の組織を生かした活動

- (一) 郡市制度部と連携した調査・集約・結果の分析と考察
- (二) 全県制度部代表者会の開催と情報交換

五 調査研究委員会の活動計画

- (一) 調査内容の検討会議：第一～三回
- (二) 分析・考察・資料作成：第四～七回
- (三) 反省・次年度計画立案：第八回

部会記録

福利部

一 活動の重点

厳しさを増す教職員の給与・処遇や退職後の再就職・再任用、及び福利厚生を巡る情勢に対処するため、県中学校長会や全国連合小学校長会、退職校長会などと連携し、情報の収集や調査研究を行うとともに、関係機関・団体に要望するなど、その改善・充実に資する諸活動を推進し、教職員の福利の向上に寄与する。

二 活動の概要

- (一) 教職員の給与・処遇の改善を図るための調査研究活動や要望活動等の推進

- 1 県小学校長会として行う調査研究活動等

- ・ 校長の給与の実態についての調査研究活動の実施及び給与水準の維持向上を図るための要望活動の実施
- ・ 校長退職後の再就職状況等の調査及び再任用制度に係る実態把握と雇用促進のための要望活動の実施
- ・ 年金制度や再任用・再雇用など、退職後の生活についての会員の意識調査の実施及び退職校長会や退職公務員

- ・ 員連盟などと連携した研修の充実による会員の意識の高揚

- 2 県中学校長会等と一体となって推進する活動

- ・ 県教育委員会への給与・処遇に係る要望事項の提出

- 3 全国連合小学校長会と連携して推進する要望活動

- ・ 全国連合小学校長会作成アンケートによる要望活動や陳情活動

- (二) 教職員の福利厚生に係る関係機関・団体との連携と、福利厚生関連事業の充実を図るための活動の推進

- 1 福利厚生等に関する教職員の要望や意見の聴取と取りまとめ

- 2 県福利五団体との懇談会の開催、及び報告書の作成(今年度は県小学校長会が主管)

- 3 福利広報「退職時の手続き一覧」の作成と配付(今年度は県中学校長会が主管)

- 4 福利厚生関連事業への積極的参加や施設利用の呼び掛け

研修部

副主題「社会の変化に主体的に関わり共に豊かな未来社会の創造に挑む子どもの育成」

1 委員会活動

(四) 教育課程委員会

新しい時代に即応する教育計画の立案と実施に伴う課題について、県内小学校における対応の現状と課題を調査・分析し、各校の教育課程の改善・充実のための資料とするために、次の調査を実施する。

○「心の教育」の充実

○防災教育、交通安全教育

2 生徒指導委員会

昨年度の関ブロ新潟大会生徒指導分科会の研究協議題は「豊かな人間関係を築く生徒指導」であった。子どもが豊かな人間関係を築く上で欠かせないのが「社会性の育成」であり、今年度も「社会性の育成」を目指した学校改善の一助となる取組を行う。

3 同和教育委員会

(1) 各種研究大会等の役員や参加者を決定し、運営協力及び参加する。

(2) 新潟県同和教育研究協議会・学校同和教育部の委員を選出し、同部会と連携を図りながら事業の円滑な推進に努める。なお、学校同和教育部の委員は、「かかわる同和教育」推進上の条件整備や問題点・課題等について協議し、啓発活動に取り組む。

(三) 第六十八回全国連合小学校長会研究協議会高知大会への参加

学習指導要領の理念を実現し、地域の信頼を得る創造的な学校経営を展開するために、校長会研究会を開催して研修を深める。また、教育課程、生徒指導、同和教育の三委員会を設け、調査研究活動や研修活動に取り組み、校長の資質・指導力の向上を図る。

二 活動の概要

(一) 校長会研究会の開催

全連小の研究主題を受け、本県大会副主題「未来を生き抜く知を磨き絆を強め 学び続ける子どもを育てる学校経営」を掲げ開催する。十分科会を設け、各自の実践を持ち寄り、「学校経営」の視点を明確にし、少人数で協議する。

(二) 第六十八回関東甲信越地区校長研究協議会東京大会への参加

副主題「心豊かに生きることのできる社会の実現を目指し 豊かな発想力や創造性を身に付け 共に学び続ける子どもを育む学校経営」

第六十八回全国連合小学校長会研究協議会高知大会への参加

部会記録

広報部

慮して担当者が決める。
4 本年度中に編集内容を精査し、次年度から年一回の発行とする。

(二) 「校長会報」発行計画

1 A4判で年間四回(336号〜339号)を発行する。

2 「初等教育」その他、会員に配付される要項や報告書との重複をできるだけ避ける。速報性を重視し、読みやすく親しみやすい紙面づくりに努める。

3 人選については郡市に確認し、直接事務局から依頼する。提出原稿については、郡市で事前に確認をし提出する。
4 昨年度、内容の見直しを行ったことを踏まえ、しばらくはこの形で発行する。

(三) 「ホームページ」の運用計画

1 広く県民に信頼されるホームページづくりに努める。

2 「初等教育」「校長会報」共にアクセスをアップする。個人情報に関わることは配慮していく。

3 PDFファイルで掲載し、三年間程度公開していく。

三 情報交換

郡市の広報部の活動状況について情報交換を行った。大変な作業ではあるが、全校長の顔写真を掲載し好評である、配布先が全教職員である等、各郡市の特徴のある広報活動がそれぞれ紹介された。

〈提案要旨〉

一 活動の重点

会員の連携と学校経営の改善・充実に資するよう、県小学校長会及び各郡市小学校長会の活動や当面する諸問題に関する情報を提供するとともに、活動の記録して保管し、その活用を図る。

校長会の活動はもとより、郡市の教育施策・課題等についても校長同士が共有し意識を高めて学校経営に当たっていける広報を目指していく。

二 活動の概要及び協議

(一) 「初等教育」発行計画

1 A5判で年間二回(124号、125号)発行する。

2 「校長会報」との連携を図りながら記録性、資料性を重視して、紙面の充実に努める。

3 執筆依頼は各郡市校長会からの推薦を原則にしている。関ブロの執筆者は、上・中・下越のバランスを考